



上野南部 自治協だより

令和 6 年 3 月 1 日 第 75 号
発行 上野南部地区
住民自治協議会
編集 広報部会
<http://ueno-nanbu.com>



生涯学習支援事業

～干支飾りづくり～

詳しくは、
☞



1月27日(土) 13時30分から、上野南部地区市民センターで活躍されているサークル「手工芸教室」の北寺 真弓さんを講師に、押絵の干支飾りづくりをしました。最初に飾り台紙の色、次に辰飾りの部品になる紐を選びました。同じ材料でも選ぶ色目でそれぞれの個性が現れます。個々のパーツが細かく苦労もありましたが、参加いただいた12名の皆さんから「毎年作品を作り、十二干支を揃えたい」とのお声もいただきました。



地域安全部会

～防災講演会&おふくろめし試食会～

詳しくは、☞



能登半島地震の被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
1月14日(日) 9時から、上野南部地区市民センターで部会員による防災資機材の点検を実施し、10時からは、地域住民も参加して伊賀市防災危機対策局の職員から、「地震に備えての自助、共助」について講話をしていただきました。災害が発生すれば、市の職員も被災し、支援が行き渡らない事も想定される中、最低7日間の食料などを備蓄してもらいたいことや日頃から地域の助け合いが大切であるといったお話でした。非常食の体験では、避難所では、水不足が切実であるので、今回は、水を節約し食器を使わないおふくろめしを作りました。袋の中に無洗米と水でごはんを作り、牛丼の具は牛肉・玉ねぎ・麩に焼肉のたれとめんつゆをまぜて作りました。



▶▶▶裏面に「上野南部地区 人権のつどい」を掲載しています



「人権のつどい 人権講演会」

詳しくは、



2月4日(日)10時から上野南部地区市民センターで、刺繍が特徴的なウクライナの民族衣装に身を包んだ浅井 絵利香さんから、「ウクライナの今」と題して、昨年夏に一時帰国して家族と再会した時のウクライナ現地キーウの様子などをお話いただきました。

前回の講演では、ウクライナが2022年2月24日に攻撃を受け、翌月娘を連れて出国し、スロバキア、チェコ、フランスを經由して伊賀に避難したことをお話いただきました。

今回、キーウに戻った時には、避難時には暗かった人々の顔が少し明るくなっているように感じ、一部の建物は修復され、スーパーは攻撃以前と変わらない品ぞろえになっていたそうです。

しかし、日常生活は戦争と隣り合わせで、ミサイル攻撃による空襲警報が1日に何度もなり、その都度シェルターに避難したとお話をされました。

浅井さんは、「ウクライナが平和を取り戻して復興するには10年、20年かかると思うが、温かく見守ってください」と講演を締めくくりました。

なお、来場者は上野南部地区以外の方も三重県下から広く参加され、総勢75名と立ち見も出るなど盛況でした。



募金額 24,172 円

- ・在日ウクライナ大使館
 - ・日本ウクライナ友好協会 へ
- 2月19日 送金致しました



編集後記

1年間お届けした自治協だよりの広報部員を紹介します

上田部長：これからも、地域に寄り添う部会を目指します。

藤田副部長：見やすい広報誌をお届けします。

宮田支援員：常に最新情報をお届けできるよう頑張ります！

浅井：広報で地域の絆が深まるように努めます。

上田：一年間たくさんのイベント情報に関わってきました。来期は参加できるように頑張ります。

大谷：自治協だよりのご意見をお待ちしております。

木宮：掲載中の「上野南部地区の歴史と文化」の冊子、好評販売中です。

栗本：「ホットな情報を伝わりやすい表現で」をモットーに取り組んでいます。

田中：部会の皆様も共に地域の情報をお届けしていきます。

森田：記事募集。ご意見、ご要望等お寄せください。

米田：ステキな南部をいっぱい紹介します。